

シーズ名	寒冷地向け一季成りイチゴ新品種「豊雪姫」	分類：13
所属 / 職 / 氏名	畑作園芸研究領域 / 主任研究員 / 本城 正憲	
キーワード	一季成り性イチゴ、露地栽培、無加温半促成栽培、新品種	

どんな技術？

一言アピール

- ・国内産イチゴの出荷量が減少する5月から7月にかけて出荷できます。
- ・東北地方など寒冷地での栽培に適しており、果実が大きく、収量が多い品種です。

- ◎ 「豊雪姫」は極晩生のイチゴ品種で、良品の少なくなる5～7月に収穫できる。
- ◎ これまでの「北の輝」に比べ、種子の浮きが少なく、果実品質がよい。
- ◎ 大果で揃いも良く、良品収量が高い。
- ◎ 炭疽病に強く、作りやすい。



「豊雪姫」(盛岡 35 号) の草姿および果実

何に使えるの？

寒高冷地での遅出し栽培に適し、ケーキ用などで有利な販売ができます。

関連特許	
関連資料等	平成 23 年度 研究成果情報 http://www.naro.affrc.go.jp